

# 第53回

公益社団法人部落問題研究所

# 部落問題研究者全国集会

会場 同志社女子大学・今出川キャンパス (京都市上京区今出川通寺町西入)

日程 2015年 10月31日(土)~11月1日(日)

第1日 全体会(10月31日)

午後一時三十分~五時 純正館

報告 戦争体験をいかに継承するか

―「戦後七〇年」の地平に立って

吉田 裕 (一橋大学)

コメント

人見 佐知子(岐阜大学)  
平井 美津子(大阪府吹田市立中学校)

第2日 分科会(11月1日)

午前10時~午後四時三十分 純正館

①歴史Ⅰ(テーマ 近世身分研究の新展開)

一八世紀末における皮革流通構造の変容と皮商人

―津山藩を事例に―

高垣 亜矢(日本学術振興会特別研究員)

京都の非人―「坂」から「悲田院村」へ―

吉田 ゆり子(東京外国語大学)

②歴史Ⅱ(テーマ 戦時・戦後の地域における政治構造と社会運動)

高度成長期における教育と地域社会運動

―京都府丹後地域の教員組合運動を中心に―

富山 仁貴(関西学院大学大学院生)

翼賛選挙期大都市近郊における地域政治構造の変容

―東京府八王子市を事例に―

中村 元(新潟大学)

③現状分析・理論(テーマ 同和行政終結と地域の人権課題を考える)

兵庫県丹有地域における同和行政終結の取組み

村上 保(兵庫県連三田支部)

地域における介護福祉の取組み

中島 純男(NPOみんなの会)

原爆被害者相談員の会のあゆみと被爆者の人権

三村 正弘(原爆被害者相談員の会)

④教 育(テーマ 道徳の「特別教科」化の検討)

道徳の教科化と対抗戦略

碓井 敏正(京都橘大学名誉教授)

道徳の「特別教科」化―その問題点と教育実践者の立ち位置

折出 健二(人間環境大学)

⑤思想・文化(テーマ 戦争の実相を再認識する)

ニューギニア戦線を描いた話題作から

秦 重雄(大阪府立桜塚高校)

映画人と沖繩

島田 耕(映画監督)

参加費

2000円

(学生・院生は1000円)

参加について

- (1) 申込み方法 ①氏名②連絡先③参加分科会を記入し、葉書・FAX・メールなどで一月二十六日までに「全国集會事務局」あて申し込んで下さい（申込みなしでも参加していただけますが、集會運営の都合上、事前申し込みにご協力をお願いします）。
- (2) 参加費 参加費は二、〇〇〇円（学生・院生は一、〇〇〇円）です。集會当日、受付でお支払ください。
- (3) 報告書 本集會の報告書を『部落問題研究』特別号として刊行します。購読希望の方は、会場で申し込んで下さい。
- (4) 会場までの主な交通機関（下図を参照して下さい）
  - ①JR京都駅から
    - ▽地下鉄烏丸線（国際会館行）「今出川」下車・3番出口徒歩5分。
    - ②阪急烏丸駅から
      - ▽地下鉄烏丸線（国際会館行）「今出川」下車・3番出口徒歩5分。
      - ③京阪出町柳駅から
        - ▽徒歩一〇分。

参加申込み・お問い合わせは

部落問題研究者全国集會事務局

〒606-8691 京都市左京区高野西開町三四一一

部落問題研究所

電話〇七五-七二二-一六八〇八（代）

FAX〇七五-七〇二-二七二三

Eメール buraken@smile.ocn.ne.jp

# 第53回部落問題研究者全国集會開催要項

公益社団法人 部落問題研究所

部落問題研究者全国集會は、部落問題にかかわる学際的な研究会として一九六三年に開始されました。それ以来、部落問題・人権問題に関する多方面からの研究成果の発表の場、また、新たな課題を提起していく研究の場として発展してきました。

安倍政権が「新自由主義」政策と「集団的自衛権」行使の動きを強権的に推し進めようとする一方、日本国憲法にもとづく民主的平和的社会への転換を模索する動きも大きくひろがる中で「戦後七〇年」を迎えました。激動する内外情勢の中で、人権問題や地域社会の諸問題などを原理的かつ具体的に分析、究明することが強く求められています。皆さんのご参加をお待ちしています。

日程 二〇一五年一〇月三十一日（土）～十一月一日（日）

第一日 全体会（一〇月三十一日午後一時三〇分～五時）

第二日 分科会（十一月一日午前一〇時～午後四時三〇分）

歴史Ⅰ／歴史Ⅱ／現状分析・理論／教育／思想・文化

会場 同志社女子大学・今出川キャンパス（京都市上京区今出川通寺町西入）

